DP1:研究分野における高度な専門性	DP2:調査分析能力、研究遂行能力	DP3:課題設定・解決能力、探究力	DP4:主体性、実行力	DP5:協調性、柔軟性
「経済理論研究」、「経済史・思想 史研究」、「国際・地域研究」、 「応用経済研究」、「租税法・会計 研究」などの幅広い研究領域から経 済学理論を体系的に修得し、かつ各 分野における高度な専門知識を身に 付けている。	経済学的思考法を駆使して、社会諸問題に対し定性的・定量的な分析を試み、独立して社会の諸問題を解決できる能力及び独創的な視野で学問の探究を継続できる能力を身に付けている。	専門分野に新しい知見を付与できる ハイレベルの研究遂行能力を身に付 けている。	世のため、人のために尽くす公徳心を有し、経済学の専門家として学界の最新成果の摂取に努め、修得した知見を広く社会に還元する意思と能力を持っている。	歴史や文化を尊重し、多様な価値観 を認める包容力を持ち、異分野の専 門家とも協働しながら、日本と世界 が抱える複雑な経済問題の解決に取 り組む意欲を持っている。

博士論文

3 年次

博

± 2

課

程

年次

5つの研究領域から選択履修

経済理論研究領域 (5科目)

ミクロ経済学特別研究講義マクロ経済学特別研究講義計量経済学特別研究講義経済統計学特別研究講義金融論特別研究講義

国際・地域研究領域 (4科目)

国際マクロ経済学特別研究講義 国際経済論特別研究講義 アジア経済論特別研究講義 多文化社会経済特別研究講義

応用経済研究領域

(7科目) 人的資源管理論特別研究講義 労働経済論特別研究講義 企業経済論特別研究講義 情報産業論特別研究講義 経済政策論特別研究講義 環境経済論特別研究講義

経済史・思想史研究領域 (4科目)

経済学史特別研究講義 日本経済史特別研究講義 西洋経済史特別研究講義 ヨーロッパ思想史特別研究講義

租税法・会計研究領域 (4科目)

租税論・租税法特別研究講義 地方財政論・地方税法特別研究講義 国際租税法特別研究講義 財務会計特別研究講義

学位論文指導体制

学生が課程在学中に博士論文を完成し、学位が取得できるよう、指導教員による個別指導に加え、関連分野の複数教員による集団指導体制を実施。

研究活動

- ●中間研究発表会 (各学年毎年実施)
- ●研究活動 (学会発表、学術誌への論文掲載)
- ●リサーチ
- ●学位論文の執筆

特別研究演習

各専修科目の演習 (|・||・||)

外国語文献講読

文献講読(英語) 文献講読(仏語) 文献講読(日本語)